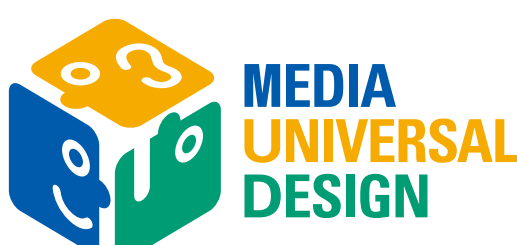


当社は MUD 認定を取得し、より多くの方に等しく、正しい情報が伝わる取り組みを積極的に進めます。



メディア・ユニバーサル・デザインとは？

MUD (Media Universal Design) 協会は、高齢者・障がい者・色覚障がい者など、誰もが使いやすく、見やすいメディアを提供し、メディアのエキスパートとしてより良い社会づくりに貢献したいと考えています。

日本国内で情報受信にハンディキャップのある人が



にいます。



65歳以上の高齢者	約2,898万人
弱視者	約100万人
色覚障がい者	約320万人
身体障がい者	約350万人
外国人入国者	約800万人

情報受信のハンディキャップ

色覚障がい 約 320 万人

色覚タイプによる色の見え方のシミュレーション

緑色の見分けが困難な領域 (色の差が小さくなります)

赤

正常色覚

1型2色覚(強度) 赤錐体の変異

2型2色覚(強度) 緑錐体の変異

3型2色覚(強度) 青錐体の変異

この実線を中心に選んであれば、条件にもよりますがおよそ見分けやすいといえます

この点線を中心に左右の色がほぼ対象(同様に)の色に見えます

色覚障がい者の色の見え方の一例

一般的な見え方	色覚障がい者の見え方
青 紫 水色 ピンク	青 紫 水色 ピンク
明るい灰色 淡い水色 灰色 淡い緑	明るい灰色 淡い水色 灰色 淡い緑
深緑 茶色 赤 緑	深緑 茶色 赤 緑
黄色 黄緑 濃い赤 焦げ茶	黄色 黄緑 濃い赤 焦げ茶
明るい淡色 オレンジ 明るい緑	明るい淡色 オレンジ 明るい緑

高齢者(65歳以上) 約 2,898 万人

白内障患者の見え方

白内障は、カメラのレンズにあたる「水晶体」が濁り、「目がかすむ」「二重に見える」などの症状があらわれる。黄と白、紺と黒などが見分けづらくなる人が多い。

白内障・弱視者の見え方

白内障・弱視シミュレーション

白内障や弱視の人は、明度差のない配色はとも見づらいようです。明度の高い黄色は白との見分けも難しくなります。

白内障・弱視者の見え方

白内障・弱視シミュレーション

コントラストに差をつけることで、高齢者などにも識別しやすくなります。

メディア・ユニバーサルデザインを 実践するための 5 原則！

1 接近容易性 (アクセシビリティ)

1 アクセシビリティ accessibility (接近容易性)
見えない・読めないなど、情報の入手を妨げる要因を取り除く工夫が必要です。たとえば高齢者に対しては、明度差をつけた配色を行うと有効です。

●色覚障がい者への配慮

「色のユニバーサルデザイン」は誰もが使いやすいデザインを目指しています

2 使いやすさ (ユーザビリティ)

2 ユーザビリティ usability (使いやすさ)
より快適・便利に使える使いやすさの工夫が必要です。施設の案内図にトイレの表示をする際、その形状や付近のアクセスの情報があれば障がい者にとって便利です。

●情報をプラスして肢体不自由者への配慮

お問い合わせは 上野商店街連合会

3 読めて理解できる (リテラシー)

3 リテラシー literacy (読めて理解できる)
内容がより理解しやすい表現や構成による工夫が必要です。平易な言葉づかいは子どもや外国人に、カタカナ語を不用意に使わないことで高齢者にもわかりやすくなります。

●多言語、ピクトグラム表示

西郷橋下公園便所 Public restroom
さいご亭 西郷橋下
台東区役所各階西口 Taito ward offi
ダイトウ 台東区役所各階西口

4 デザイン design (情緒に訴える)

4 デザイン design (情緒に訴える)
情緒に訴え、行動を誘発するデザインによる工夫が必要です。メディア・ユニバーサルデザインはデザイン性が高いことと矛盾しません。

●配色とデザインへの工夫

5 持続可能性を満たす品質であること (サステナビリティ)

5 サステナビリティ sustainability (持続可能性を満たす品質であること)
実現するのに過大なコスト負担がなく環境へも優しいものである必要があります。将来にわたって長く使用し続けられることが大切です。

●代表的なサステナビリティへの配慮

MUD メディア・ユニバーサルデザイン
Font UD
大宮インキ
VOCフリーインキ
R70 古紙配合

MUD が特に必要とされる機関

教育機関

教育機関、出版社、教材メーカー、玩具メーカー

公共性の高い機関

官公庁、公共交通機関、新聞社、電力・ガス・水道、病院、公共施設

危険、用法の告知機関

薬品、食品、機器の取扱、建築・製造現場、標識類、ハザードマップ類

情報の公平性が求められる機関

企業のIR情報、金融機関、生保・損保会社